

【フラット35】をご利用いただくための

省エネ基準への適合確認方法 ～導入編～



- 省エネ施策に関する動き
- 省エネ住宅のキホン
- 省エネ基準を満たすには

(2022年12月)

住宅の省エネ化の動き (新築住宅)

2020年

カーボンニュートラル宣言



2022年

改正建築物省エネ法公布 (6月)、
【フラット35】S (省エネ性) 基準強化 (10月~)

2023年

【フラット35】省エネ基準要件化 (4月~)



【フラット35】では、
2025年の省エネ基準義務化よりも**2年前倒し**
して、**2023年4月**から
要件化を実施予定

2024年

省エネ基準適合住宅以上を**住宅ローン減税**の対象に

2025年

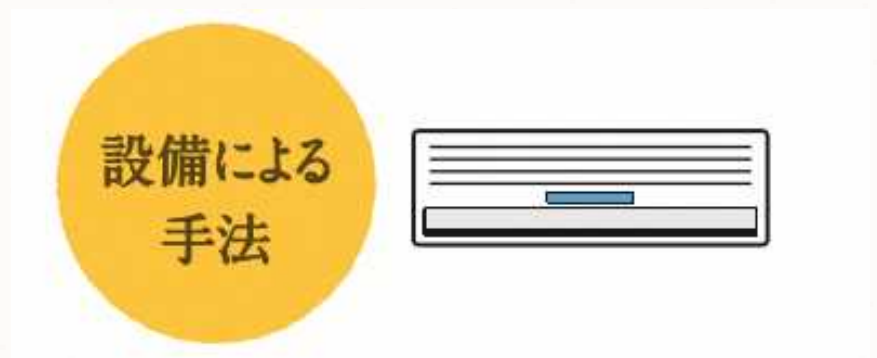
原則**全ての**新築住宅に省エネ基準適合を義務づけ

住宅の省エネルギーに必要なこと

① **住宅**の高断熱・高気密化

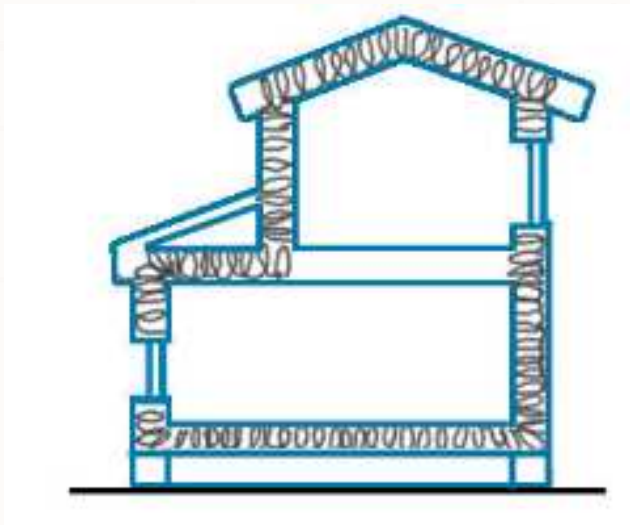


② **住宅設備**の高効率化

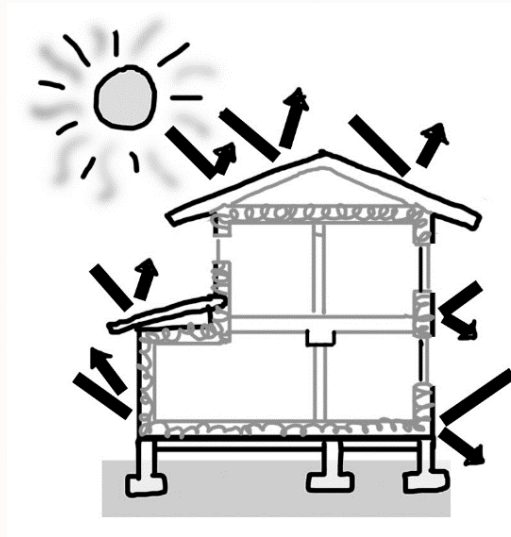


住宅の外皮に求められる性能とは

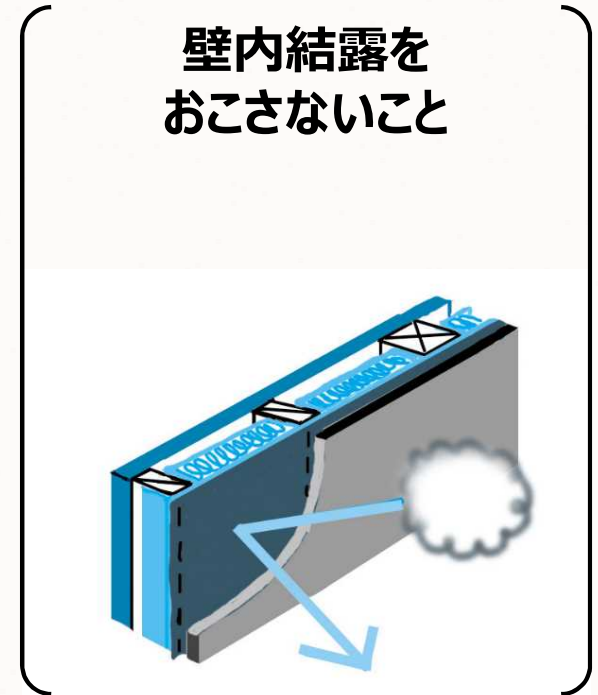
冬の寒さに耐える
夏の暑さに耐える
断熱性能があること



夏の日射を遮る
性能があること



壁内結露を
おこさないこと



※長期優良住宅、住宅性能表示制度、
【フラット35】では必須

住宅の設備を高効率化する

暖冷房設備

- **高効率エアコン**
- 床暖房

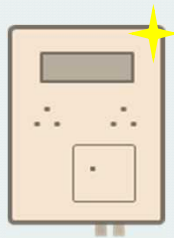
など



給湯設備

- **高効率給湯器**
- 節湯水栓

など



換気設備

- 高効率換気
- 熱交換器

など



照明設備

- LED照明
- 調光制御
センサー

など



高効率の設備を選ぶことで住宅内の消費エネルギーを減らす

省エネ基準の適合確認をするには？

概要



作業量



設計の自由度



省エネ
適合判定※

仕様基準 で確認

あらかじめ
決まった仕様から
選択する

小

低

なし

性能基準 で確認

パソコンを使って
計算をして
仕様を決める

大

高

あり

※2025（令和7）年4月より、建築確認手続きの中で省エネ基準への適合性審査が行われる予定。

省エネ基準の適合確認をするには？

仕様基準 で確認

決まった仕様を選択する



次の動画をご視聴
ください

[1 ~ 3 地域]

[4 ~ 7 地域]



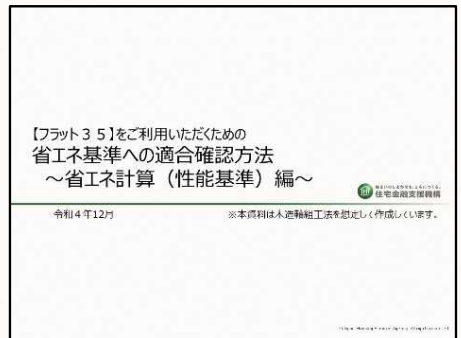
[30分程度]

性能基準 で確認

パソコン等を使って計算する



次の動画をご視聴
ください



[30分程度]

 <https://www.flat35.com/business/standard/energy.html>

